



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 三菱化工機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6331 URL <http://www.kakoki.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高木 紀一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 根木 貴晴 (TEL) 044-333-5354
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	30,702	20.6	1,399	164.6	1,601	136.5	1,102	114.3
2019年3月期第3四半期	25,452	26.0	529	—	677	259.2	514	△62.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,063百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 △295百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	140.99	—
2019年3月期第3四半期	65.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	46,763	22,909	48.9	2,930.07
2019年3月期	46,217	22,326	48.3	2,840.15

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 22,880百万円 2019年3月期 22,326百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	15.2	1,900	73.1	2,050	61.7	1,600	44.1	204.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	7,913,950株	2019年3月期	7,913,950株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	105,241株	2019年3月期	52,919株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	7,819,919株	2019年3月期3Q	7,861,041株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、民間設備投資は堅調であり、個人消費も底堅く推移する等、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方で、米中貿易摩擦の長期化による世界経済の減速等により、先行き不透明感が強まる中、企業の業況判断は製造業を中心に引き続き慎重であり、輸出や生産は弱含みの状況が続きました。

このような事業環境の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、前連結会計年度の受注高の増加を反映し、30,702百万円と前年同四半期に比べ20.6%の増加となりました。損益面におきましては、売上高の増加による売上総利益の増加、見積設計費を始めとする販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は前年同四半期に比べ164.6%増加の1,399百万円となりました。経常利益は前年同四半期に比べ136.5%増加の1,601百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ114.3%増加の1,102百万円となりました。

なお、当社グループでは、売上高が上半期に比べ下半期に、また、第2四半期連結会計期間末及び連結会計年度末に偏る傾向があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

エンジニアリング事業については、売上高21,331百万円(前年同四半期比28.4%増加)、営業利益552百万円(前年同四半期は433百万円の損失)となりました。

単体機械事業については、売上高9,371百万円(前年同四半期比6.1%増加)、営業利益846百万円(前年同四半期比12.0%減少)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、2019年4月1日付で実施したグループ内組織再編に伴い、従来、単体機械事業に含めていた四日市・鹿島両工場の工事業をエンジニアリング事業に含めることといたしました。

これにより、前年同四半期の数値は、セグメント変更後の数値と比較しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ545百万円増加の46,763百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金の減少917百万円、株価下落に伴う時価のある有価証券の評価差額の減少226百万円、主として繰延税金資産の減少による固定資産のその他の減少290百万円等がありましたが、現金及び預金の増加883百万円、仕掛品の増加711百万円、主として前渡金の増加による流動資産のその他の増加476百万円等の影響によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ37百万円減少の23,854百万円となりました。これは、前受金の増加1,878百万円等がありましたが、未払法人税等の減少404百万円、賞与引当金の減少379百万円、短期借入金の減少500百万円、退職給付に係る負債の減少283百万円、その他引当金の減少232百万円、主として未払金の減少による流動負債のその他の減少157百万円等の影響によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ583百万円増加の22,909百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金の減少159百万円等がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加706百万円、退職給付に係る調整累計額の増加106百万円等の影響によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績及び今後の経済動向を勘案し、2019年10月31日に公表した2020年3月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2020年1月31日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,078	4,962
受取手形及び売掛金	19,312	18,395
電子記録債権	1,379	1,320
製品	834	886
仕掛品	2,023	2,735
材料貯蔵品	717	755
その他	1,364	1,841
貸倒引当金	△31	△27
流動資産合計	29,681	30,868
固定資産		
有形固定資産	5,141	4,969
無形固定資産	192	224
投資その他の資産		
投資有価証券	9,998	9,771
その他	1,286	995
貸倒引当金	△81	△66
投資その他の資産合計	11,203	10,701
固定資産合計	16,536	15,894
資産合計	46,217	46,763
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,624	7,502
電子記録債務	2,193	2,358
短期借入金	500	—
1年内返済予定の長期借入金	—	1,000
未払法人税等	495	91
前受金	406	2,285
賞与引当金	640	261
役員賞与引当金	22	—
完成工事補償引当金	891	727
受注工事損失引当金	130	85
その他	1,163	1,005
流動負債合計	14,068	15,317
固定負債		
長期借入金	3,300	2,300
P C B 処理引当金	1	2
役員報酬B I P 信託引当金	18	28
退職給付に係る負債	6,313	6,029
その他	190	176
固定負債合計	9,822	8,536
負債合計	23,891	23,854

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,956	3,956
資本剰余金	4,200	4,200
利益剰余金	11,537	12,243
自己株式	△125	△210
株主資本合計	19,568	20,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,191	4,031
繰延ヘッジ損益	0	3
為替換算調整勘定	△245	△264
退職給付に係る調整累計額	△1,187	△1,080
その他の包括利益累計額合計	2,758	2,689
非支配株主持分	—	29
純資産合計	22,326	22,909
負債純資産合計	46,217	46,763

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	25,452	30,702
売上原価	20,561	25,481
売上総利益	4,890	5,220
販売費及び一般管理費	4,361	3,820
営業利益	529	1,399
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	258	270
その他	11	38
営業外収益合計	270	310
営業外費用		
支払利息	29	30
支払手数料	32	31
為替差損	23	21
その他	36	25
営業外費用合計	122	108
経常利益	677	1,601
特別利益		
投資有価証券売却益	109	—
特別利益合計	109	—
税金等調整前四半期純利益	787	1,601
法人税、住民税及び事業税	155	166
法人税等調整額	111	302
法人税等合計	267	469
四半期純利益	519	1,132
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	514	1,102

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	519	1,132
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△996	△159
繰延ヘッジ損益	△0	3
為替換算調整勘定	△11	△18
退職給付に係る調整額	194	106
その他の包括利益合計	△814	△68
四半期包括利益	△295	1,063
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△300	1,033
非支配株主に係る四半期包括利益	4	29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアリング事業	単体機械事業	
売上高			
(1) 外部顧客に対する 売上高	16,616	8,836	25,452
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—
計	16,616	8,836	25,452
セグメント利益(△は損失) (営業利益(△は損失))	△433	962	529

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアリング事業	単体機械事業	
売上高			
(1) 外部顧客に対する 売上高	21,331	9,371	30,702
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—
計	21,331	9,371	30,702
セグメント利益 (営業利益)	552	846	1,399

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、2019年4月1日付で実施したグループ内組織再編に伴い、従来、単体機械事業に含めていた四日市・鹿島両工場の工事業をエンジニアリング事業に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。